

速 報

各関係機関の長 殿

福岡県病虫害防除所長

平成14年度病虫害発生予察情報について（送付）

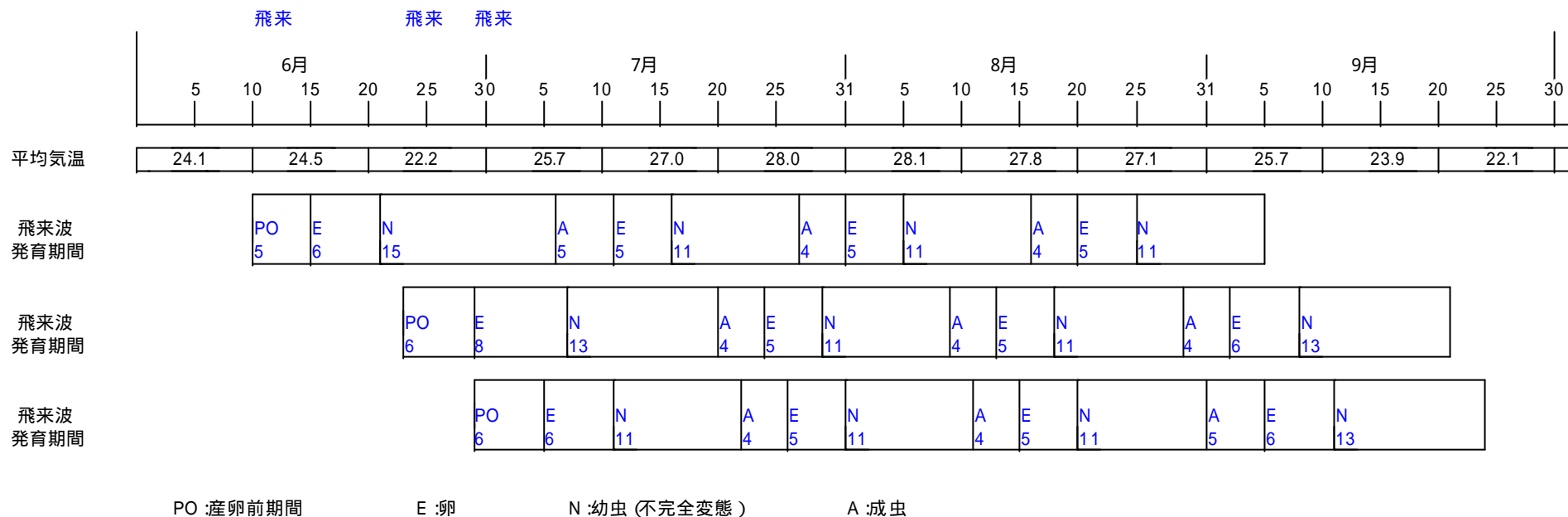
このことについて、平成14年度病虫害発生予察速報第7号を発表したので送付します。

平成14年度病虫害発生予察速報第7号

- 1 対象作物 水稻
- 2 病虫害名 海外飛来性害虫  
(セジロウンカ、トビイロウンカ、コブノメイガ)
- 3 飛来状況(7月5日現在)
  - (1) 本年は6月11日、24～25日、6月29日～7月1日に飛来がみられた。主要飛来は6月30日(飛来波)であった。
  - (2) 筑後市の予察灯のセジロウンカの誘殺数(飛来量)は6月29日～7月1日で201頭と平年並であった。その他地域の予察灯の7月5日までの総誘殺数は平年より少なかった。
  - (3) トビイロウンカは、6月30日に行橋市の予察灯で1頭誘殺された。
  - (4) コブノメイガは、7月2半旬調査で食害及び成虫の発生をほ場で認めた。
- 4 発生予想パターン図  
セジロウンカ(別紙)  
トビイロウンカ(別紙)  
コブノメイガ(別紙)
- 5 防除上注意すべき事項
  - (1) トビイロウンカは高密度になると坪枯れを発生させることがあるので、ほ場をよく観察し、若齢幼虫期に防除を実施する。
  - (2) コブノメイガの防除は発蛾最盛期を目安として、防除効果の高い若齢幼虫期(発蛾最盛期から1週間後)までに行う。

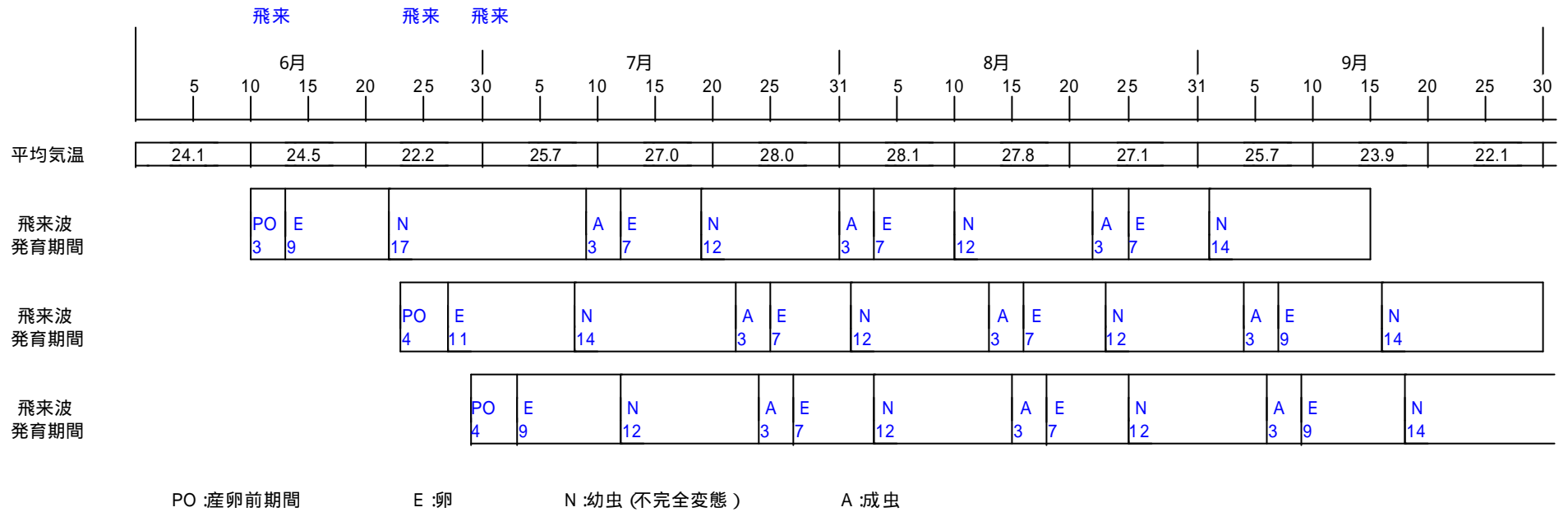
別紙

### 14年度 飛来に基づくセジロウンカ発生予想パターン図



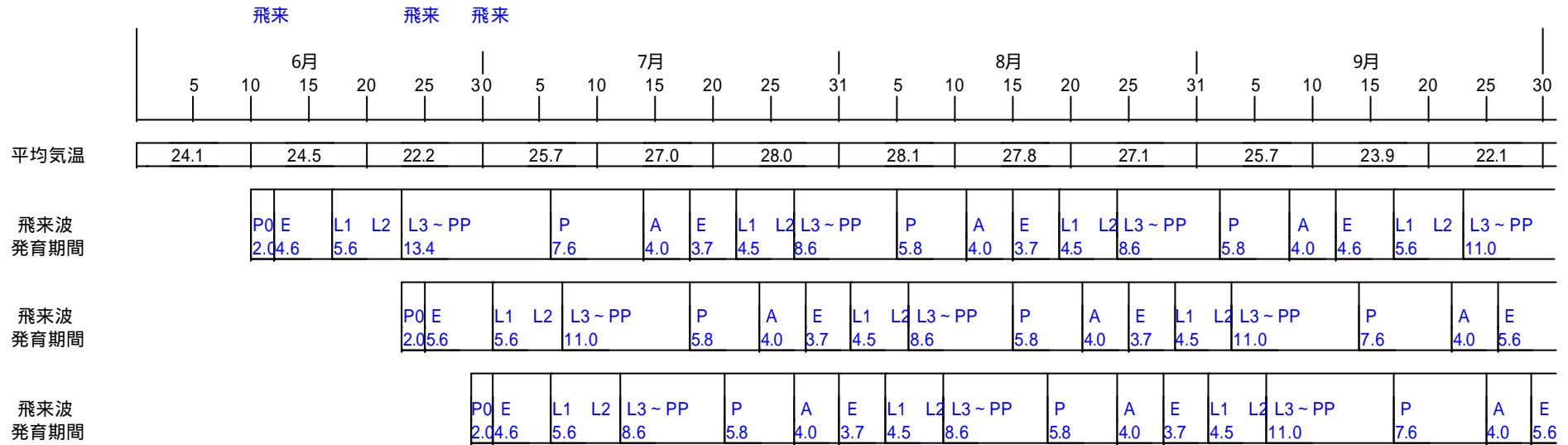
別紙

14年度 飛来に基づくトビイロウンカ発生予想パターン図



別紙

## 14年度 飛来に基づくコブノメイガ発生予想パターン図



PO :産卵前期間    E :卵    L :幼虫 (完全変態)    PP :前蛹    P :蛹    A :成虫